

令和5年度鳥取県での研修について

氏名 田碩実（田碩実）
出身国 中華人民共和国
受入自治体 鳥取県
研修先 交流推進課（6.23-7.31）
まんが王国官房（8.1-8.31）
国際観光・万博課（9.1-9.30）
観光戦略課（10.1-11.30）
文化財課、
とっとり弥生の王国推進課（12.1-12.31）
鳥取県立博物館（2.1-2.29）



1. この事業に応募した動機

私の出身地である吉林省は鳥取県と1994年（平成6年）から経済、教育、文化などの分野を中心に友好交流を行っており、2017年（平成29年）に友好県省提携を締結しました。

今回、鳥取県での研修を通じて、鳥取県が取り組んでいる地域の活性化のための経済政策や、観光客を誘致する宣伝戦略を学び、吉林省四平市のPR活動に活用し、より多くの人々に四平市の魅力を知らせていただき、よりよい観光環境を整備し、私の地元の経済成長に貢献したいと思い、事業に応募しました。私はもともと日本への留学経験があり、日本語も話すことができ、日本の文化に大変興味がありました。

2. 研修の概要

2023年（令和5年）5月21日に東京に降り立ちました。4年ぶりに日本に来たときの心が躍る気持ちを今でも鮮明に覚えています。翌日、東京の四谷のビルで先生方から日本の生活、文化、注意事項などの説明があり、中国、ベトナム、インドネシアから集まった6名の研修生は、日本での新しい生活を体験することになりました。東京での研修期間中には東京の秋葉原と国会議事堂を見学しました。

5月22日、滋賀県大津市唐崎にある全国市町村国際文化研修所に移動し、ここで1ヶ月間、日本語の授業を受けました。1ヶ月は短い時間でしたが、勉学、茶道体験、ホームステイ体験、観光、スポーツなど毎日とても充実していました。

週末にはクレア主催で行われた日本の生活体験に参加しました。滋賀県日野町での伝統文化体験やホームステイを通して日本の生活、食文化、礼儀作法やマナーについて学びました。また、京都市市民防災センターでは、地震、台風、洪水、火災についての研修を通して災害時の対応を学ぶことができました。



全国市町村国際文化研修所での研修

最後の発表会では各研修員の発表を通して、日本とそれぞれの母国の文化、歴史、生活スタイルに関して理解することができました。この1ヶ月の研修で、鳥取県での研修への期待もますます高くなりました。

6月21日に鳥取県に移動しましたが、その日はとても暑い日でした。鳥取県国際交流財団の方をはじめ、多くの日本人の方々から様々なことを紹介していただき、鳥取県庁での研修と日本語の勉強が始まりました。

以降は鳥取県での研修生活について述べさせていただきます。

○交流推進課での研修（6.23-7.31）

- 6.29 智頭町で石谷家住宅を見学
- 7. 4 鳥取県立博物館、仁風閣を見学
- 7. 6 鳥取わらべ館、鳥取県立図書館を見学
- 7.12 渡辺美術館、鳥取砂丘、砂の美術館を見学
- 7.18 香港、台湾の方々と会食
- 7.20 鳥取砂丘、砂の美術館、鳥取砂丘コナン空港、白兔神社を見学
- 7.25 むきばんだ史跡公園を見学
- 7.28 平井伸治鳥取県知事と面談
- 7.31 香川県高松市へ出張し、第6回西日本地区中日友好交流大会に参加

交流推進課では以上の様に様々な研修をしました。私が特に印象深かったのはやはり香川県への出張でした

中国と日本の各代表者が各地の技術の発展状況、研究成果を発表、交流しました。国の文化は異なりますが同じ目標を掲げていました。それは産業振興や技術開発を通して豊かな生活を作り出すことです。

○まんが王国官房での研修（8.1-8.31）

「まんが王国官房」のような課は中国の政府機関にはありません。このような課は日本国内でも鳥取県だけだと聞きました。日本の漫画は中国でもとても人気で、私は幼少期から日本のアニメを見て育ちました。まんが王国官房は漫画でパンフレットとポスターを作成して、鳥取県を宣伝しています。

8月の研修で一番印象深かったのは、鳥取しゃんしゃん祭りに参加したことと名探偵コナン祭りにスタッフとして参加したことです。

- 8. 2 倉吉市、米子市の見学
- 8. 14 鳥取しゃんしゃん祭りに参加
- 8. 17 倉吉市へ出張
- 8. 19 名探偵コナン祭りにスタッフとして参加
- 8. 25 交流推進課主催の歓迎食事会に参加
- 8. 26 国際声優コンテスト声優魂にスタッフとして参加

私は踊りはまったくの素人でしたが、日本人の先生たちに踊りのいろはから指導していただきました。おかげでみなさんの前で踊りを披露できました。生まれて初めて日本でこのような祭りに参加できました。テレビのニュースで祭りの場面を見たことがあります。実際に体験してみると雰囲気は全く異なり、大勢の方々と一緒に最後まで頑張る事ができ、とても楽しかったです。伝統文化の継承と発展は非常に重要だと思いました。

名探偵コナン関連のイベントは2016年(平成28年)に東京で行われたイベントに参加したことがございます。その時は来場者として、今回の名探偵コナン祭りではスタッフとして参加しました。そのため、来場者としてはできない様々な手伝いができ、いろいろ勉強できました。



鳥取しゃんしゃん祭りに参加
(亀井鳥取県副知事と)

○国際観光・万博課での研修 (9.1-9.30)

- 9. 4 鳥取県の観光地関連の資料の翻訳
- 9. 11 鳥取県の観光地関連の資料の翻訳
- 9. 12 ボランティアとして、中国、台湾の旅行会社の方々を横断幕等で歓迎
- 9. 22 大阪府で中華人民共和国建国74周年のイベントに参加
- 9. 26 中国からの旅行団を砂の美術館で横断幕等で出迎え
- 9. 26 岩美町の観光地を見学
- 9. 27 鳥取県の観光地へのバス・電車のルートに関する資料を作成

私は国際観光・万博課での研修では、鳥取県の観光資料を中国語に翻訳し、横断幕を持ち、中国からの観光客を歓迎しました。一番印象深かったのは、やはり大阪府で中華人民共和国建国74周年のイベントに参加したことです。そこで日本人の方々と両国の友好について話しました。

○観光戦略課での研修（10.1-11.30）

- 10.16 鳥取砂丘で砂丘観光事業者意見交換会に参加
- 10.17 倉吉市でコンベンションセンター県・四市担当課の会議に参加
- 10.18 倉吉市で「ユニバーサルツーリズム鳥取モデル」の会議に参加
- 10.19 米子空港でフジドリームエアラインズ（FDA）のチャーター便（新潟発米子行き）の出迎え
- 10.25 大山町でサウナの取材を見学
- 10.30 旧国鉄倉吉線廃線跡を見学
- 10.31 令和5年（2023年）度第三回鳥取市観光大学運営会議を見学
- 11.8 らっきょうの花を見学
- 11.10 令和5年（2023年）度市町村観光担当会議に参加
- 11.13 鳥取砂丘コナン空港航空機利用・地域交通戦略（第一回）移動活動合同作業部会に参加
- 11.14 鳥取商工会議所で南紀白浜空港セミナーの会議に参加
- 11.16 鳥取県観光連盟・県中部周辺を見学
- 11.23 タイムフェスティバルに参加、居合道の演武を披露
- 11.30 鳥取砂丘コナン空港でFDAチャーター便の出迎え

私は観光戦略課で二ヶ月間研修を受けました。これは私が中国で同じような仕事をしてきたためです。中国で仕事をした際には、よく民族衣装を着用し、街でチラシを配りました。そのため、米子鬼太郎空港や鳥取砂丘コナン空港でFDAのチャーター便の出迎えをしたときは懐かしい感じがしました。



鳥取砂丘コナン空港でのチャーター便対応

また、私は日本の武道を稽古しています。特に日本刀が好きで、今回のタイムフェスティバルに参加した際に、何年かぶりに居合道の演武をしました。

○文化財課、とっとり弥生の王国推進課での研修（12.1-1.31）

- 12.5 倉吉市で展覧品の整理に関する研修
- 12.6 むきばんだ史跡公園で研修
- 12.7 とりぎん文化会館でむきばんだ史跡公園展覧品の整理
- 12.8 とりぎん文化会館でむきばんだ史跡公園のチラシ配り
- 12.11 若桜町で仏像の研究
- 12.12 鳥取県立博物館で遺跡の研修
- 12.14 因幡万葉歴史館で展覧品の整理
- 12.18-12.20 青谷かみじち史跡公園で研修
- 12.21 あおや和紙工房で和紙作りの研修
- 1.10 むきばんだ史跡公園の弥生時代の資料を中国語に翻訳
- 1.15 埋蔵文化財センターで資料整理の研修

- 1.16 埋蔵文化財センターで鳥取県の遺跡現場を見学
- 1.17 埋蔵文化財センターで古銭について勉強
- 1.18 埋蔵文化財センターで木造製品の保存方法について勉強
- 1.19 埋蔵文化財センターで木造製品のクリーニング方法について勉強
- 1.23 むきばんだ史跡公園の弥生時代の資料を中国語に翻訳
- 1.26 文化財の消防知識について勉強

両課では考古学と鳥取県の文化についての仕事をしました。私は特に埋蔵文化財センターで考古学についての研修を受け、自分の手で古銭を整理して、木材を保存する方法を勉強できて、すごく嬉しかったです。また、文化財の消防知識も勉強しました。

○県立博物館での研修（2.1-2.29 最後の研修）

- 2.1 資料カードに写真を貼り、資料を中国語に訳して、展示室を見学し、研修を受けた
- 2.2 八頭町で資料整理の研修
- 2.9 県立博物館で根本幽峨の作品を見学
- 2.13 軍服の資料整理の研修
- 2.15 鳥取市歴史博物館やまびこ館で化石の資料を整理
- 2.17 博物館で甲冑の講座に参加
- 2.26 兵庫県浜坂町の貝殻を博物館へ移送
- 2.28 米子市の展示品を博物館へ移送
- 2.29 渡辺美術館で刀を見学し、県立博物館の軍服を見学

今回の研修を通して、県立博物館は日本の化石、軍服などの資料を総合的に学び、体感できると知りました。解説を聴いたり、ワークブックにコメントを記入したり、先生と意見交換をしたりしながら、先史・古代から現代に至る展示を見学しました。

これは業界についての理解を深める貴重な機会でもあり、学んだ知識を理解し、仕事に活かせると感じました。私にとって印象深かったのは、根本幽峨の作品を見学したことで甲冑の講座に参加したことでした。

3. 帰国後の展望

鳥取県庁交流推進課をはじめ、皆様に親切にご指導していただき、大変勉強になり、とても充実した研修生活を送ることができ、とてもいい思い出になりました。お世話になった皆様に心から感謝申し上げます。

中国に帰国しましたら、今回の研修を通して体験した鳥取県の美しい自然風景、新鮮で豊かな特産品、しゃんしゃん祭りのような町を挙げて盛り上げる伝統文化などを吉林省の人々に伝え、鳥取県と吉林省両地域の架け橋として友好交流に貢献したいと思います。